

少数台数のリコール届出の公表について（平成15年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成15年10月は下記のとおり4件の届出がありましたので、公表します。

1．届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月9日	992	車名：三菱 型式：F25C等 通称名：三菱フォークリフト	13	平成15年6月10日～ 平成15年6月23日
不具合の部位等	ナックルと油圧式ステアリングシリンダを連結しているタイロッドの取付向きが不適切なため、操舵角が大きい状態で使用をするとタイロッドとナックルが干渉し、タイロッドが破損するものがある。そのため、最悪の場合、かじ取操作が出来なくなるおそれがある。			

2．届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月10日	外-1054	車名：ボルボ 型式：不明 通称名：ボルボFH12等	89	平成14年4月19日～ 平成14年8月1日
不具合の部位等	後軸及び後々軸の車軸と車枠とを連結しているV型ステアロッドのジョイント部のダストカバーの気密性が不足しているため、当該ジョイント内部に水が浸入し、内部のボールジョイントに錆が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ボールジョイントの取付ボルトが折損して走行安定性が損なわれるおそれがある。			

3．届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月16日	外-1056	車名：リンデ 型式：B02L等 通称名：BR336	27	平成8年12月30日～ 平成14年12月6日
不具合の部位等	後退灯の電気回路が不適切なため、前後進切換レバーを後進位置へ切換えても、走行ペダルを踏込まないと、後退灯が点灯しない。			

4．届出者：日立建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月28日	998	車名：日立 型式：125W 通称名：EX125WD-5	42	平成14年11月20日～ 平成15年4月25日
不具合の部位等	かじ取りハンドルの角度を調整する装置（チルトハンドル）の締結ボルトの締め付けが不十分なため、そのままの状態で使用すると、当該ボルトが緩むものがある。そのため、当該ボルトがブラケットに干渉し、かじ取り操作が出来なくなるおそれがある。			

〔参考〕

平成15年10 月のリコール届 出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	8 件	6 件	2 件
輸入車	4 件	2 件	2 件
計	1 2 件	8 件	4 件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、久手
電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）